

〔小論文〕

募集要項どおり、長文の読解と、それに対する分析能力、思考能力、論述能力等を見極める。題材は、近時しばしば注目を浴びる「くじ引き民主主義」である。民主主義という制度を素材としつつ、既存の各種制度をその背景にある基本的な思想や考え方にさかのぼって理解し、制度内容を検討・説明する能力があるかを判定する。このような能力は、新たに多くの法制度を学ぶに当たっての基礎をなすものである。

第1問は、文章の要約問題である。柄谷、大澤及び著者という複数人の思想を整理するよう指示し、その指示どおりに論述を組み立てる能力があるかを判定する。

第2問は、ある見解が抱える理論的難点及び社会実装に際しての難点へと思考を巡らせた上で、それを筋道立った文章で表現することを求める。これにより、分析、思考及び論述の能力を測る。

〔資質確認〕

社会において問題となっている救急搬送の有料化の是非に関する疑問を設定し、その賛否を検討する際に必要な観点を示し、それぞれの立場の論拠を的確に整理しつつ、それを踏まえた自己の見解を示す力を問うことにより、問題に対応する際の判断力、思考力、分析力、表現力等の資質を判定する趣旨の出題であった。

救急搬送の有料化によって生じる利用者（患者）の利益・不利益、医療従事者・提供者側の利益・不利益に目配りをしつつ、対立する点について自己の主張に拘泥せず、論理的に反論して説得力を高める論述を適切に行う能力の有無について、趣旨に照らして判定した。

〔憲法〕

本問は、近年、いくつかの地方公共団体が定める条例に見られる、海水浴場等における入れ墨の露出を禁止する規定の合憲性について問うものである。入れ墨をめぐっては、日本においては、反社会的団体の構成員が入れ墨を入れる場合が多く見られることから、これを規制することにも理由があると考えられがちであるが、他方、規制によりいかなる法益を保護しようとしているのか必ずしも明確ではなく、入れ墨を露出すること自体を禁止することは過度の規制ではないかとの疑問も提示されている。設例中のXによる主たる憲法上の主張としては、問題となった規定が憲法13条に違反するといったものが考えられようが、その当否を検討するにあたっては、問題となる権利ないし自由の内容および性格を踏まえたうえで、とりわけ上述した保護法益との関係で、本件規定の合憲性をどう判断すべきか、説得的に論じることが求められる。

〔刑法〕

身分者と非身分者が共働した場合の事例の解決を目指して、身分犯及び身分犯の共犯関

係を規律する規定の解釈論，身分犯の処罰根拠，共謀共同正犯についての基礎知識の理解を確認し，これらの基本知識及びその理解に基づき，業務上横領罪に非身分者が関与した事例において問題解決の論理プロセスを組み立てられるかを問うものである。

〔民法〕

第1問は，不動産賃貸借の事例を素材として，不動産賃借権の対抗力，賃貸人の地位の移転，賃貸人の地位に基づく賃料請求に関する基礎的理解を問うものである。また，抵当権設定登記後に対抗力を備えた賃借権の効力について，事例に即して考察する思考力を試すものである。

第2問は，債務不履行の諸事例のうちから定期行為に関する事例を素材として，遅延した履行の提供があった場合の契約解除の可否について，通常の履行遅滞の場合と比較しながら考察，思考力を試すものである。

これによって，基本的法律知識と法的な分析力，思考力及び論述力を備えているかを判断するものである。